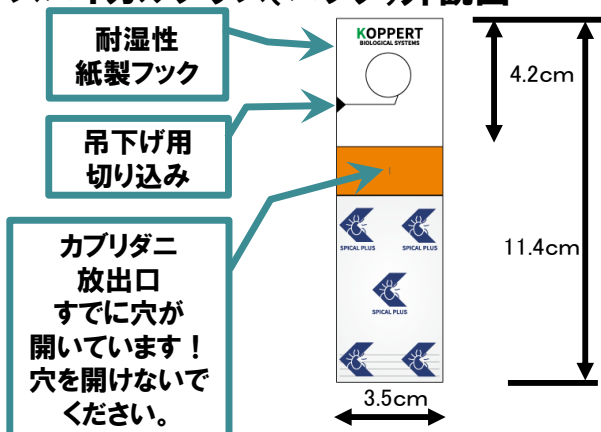


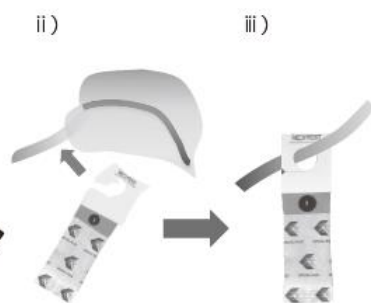
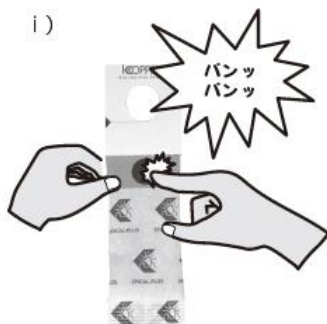
## スパイカルプラス(パック)外観図



注) 直射日光に当たるとパック内部が高温・乾燥状態になり、ミヤコカブリダニの生存率が下がるので、作物の北側や葉の陰などに設置してください。シルバーマルチ上の設置も控えてください。

## 放飼(設置)方法

- i) パック上部のカブリダニ放出口付近を指で弾いて、放出口に引っかかっているふすまを下方に落としてください。このひと手間でパック内への浸水状況が違ってきます。
- ii) 紙製フックの吊下げ用切り込み部分を手で開きます。
- iii) 作物の枝・葉柄・茎などを吊下げ用切り込み部分から輪の中に入れ、吊下げます。
- iv) 湿度が高い場合や薬剤散布後など、吊下げ部分が水に濡れて柔らかくなり、切り込み部分が開いてしまう場合があるため、下図のようにホチキス等で補強すると落ちにくくなります。



吊り下げ設置例

## 放飼(設置)後の注意



スパイカルプラスは左のような紙製の袋にパックが入っています。パックから放出されたミヤコカブリダニが袋の中に残っていることがあるので、パックの設置後に袋を開いた状態で圃場の邪魔にならないところに放置して、残りのミヤコカブリダニもすべて圃場内に出られるようにしてください。



スパイカルプラスの使用に当たっては、ハダニ以外の害虫防除をなるべく減らした方が定着が向上します。

アザミウマ類やコナジラミ類が発生する圃場では、粘着板の“ホリバー・ブルー”や“ホリバー・イエロー”(右写真→)との併用を行ないましょう。



天敵農薬をはじめとする、弊社製品に関する情報を定期的にお届けします。配信をご希望の方は、弊社ホームページよりお申し込みをお願い申し上げます。

アリスタ通信

検索

# スパイカル®プラスの放飼における注意点

2021/3作成

## <スパイカルプラス放飼後の殺虫剤について>

下記薬剤を推奨します。ご利用の作物で登録のあるものを利用してください。

対象病害虫	影響の少ない殺虫剤 ※2	若干影響ある殺虫剤	影響のある殺虫剤
ハダニ類	マイコタール、ボタニガード水、スターマイト、カネマイト	アカリタッチ、粘着くん、エコピタなど (直接かかれば影響あり)	コロマイト、サンマイト、ダニトロン、アフアーム、コテツなど
アブラムシ類	チェス、ウララ	モスピラン、バリアード	アーデントなど
アザミウマ類	マイコタール、ボタニガード水和剤、マッチ、カスケード	モスピラン、スピノエース	アーデントなど
ヨトウ類	プレオ、プレバソン、フェニックス、カスケード、ノーモルト	スピノエース	アフアーム、アニキ

※1. 上記の薬剤以外は天敵に影響がある可能性があります。特にアディオン、アーデント、アグロスリン、アザミバスター、ロディーなどの合成ピレスロイド剤や有機リン剤、カーバメート剤、ハチハチ、アブロードエース、ピラニカ、サンマイト、ダニトロンなどは天敵に大きく影響するので使用できません。また、天敵の放飼前にこれらを散布していた場合はミヤコカブリダニがうまく定着しないことがあります。

※2. ハダニ防除でスパイカルプラスを効果的に使用するには、放飼前にハダニを徹底防除しておく必要があります。

## <スパイカルプラス放飼後の殺菌剤について>

- モレスタン、ジマンダイセン、ビスダイセン、ペンコゼブ、マネージM、テーク、リドミルMZ、カーゼートPZ、フェスティバルM、クリーンサポート、ポリオキシソ、ポリベリン、ダイアメリットDF などの使用はなるべく避けることを薦めます。
- 硫黄のくん煙は1回当たり2～3時間以内で行なってください。

- パックにカブリダニ放出口が開いており、ここからカブリダニが出てきますので、パックは破らないでください。
- スパイカルプラスは徐放性製剤となっています。既存のボトル製剤と比較して作物への分散が遅い傾向にありますので、早めの放飼を心がけてください。
- 摘葉で取り除いた葉などにミヤコカブリダニが残っていることがあります。病害虫管理の面からもハウス外に捨てて構いません。但し、放飼後2週間以内に摘葉した場合は、除去した茎葉を株元に設置し、しばらく経ってから捨ててください。
- 葉面散布剤の使用は可能ですが、機能性展着剤(まくぴか、ミックスパワー、ニーズ、ブレイクスルーなど)は、なるべく使用しないことをおすすめします。

スパイカルプラスと相性の良い微生物農薬  
コナジラミ類、アザミウマ類に感染するカビの仲間  
**「マイコタール」・「ボタニガード水和剤」**

- ミヤコカブリダニにはほとんど影響が無く、施設栽培の野菜類で使用可能(農薬散布回数にカウントされない)
- プレオ、マッチ、ネオニコチノイド系薬剤などと混用すると効果的



**「スパイカルEX」**

**「スパイデッキ」**

- ボトル製剤のスパイカルEXも並行して販売しています。
- いちご等のハダニ類には即効性が要求されるため、これまで通りスパイカルEXとスパイデッキの同時放飼を推奨します。

スパイカルプラスと併用できる天敵 **「スワルスキープラスUM」・「スワルスキー」**

- スパイカルプラスと同じく定着しながらコナジラミ類・アザミウマ類を防除
- 施設栽培の野菜類などで使用可能(トマトを除く)
- 放飼後の管理(使用薬剤など)はスパイカルプラス・スパイカルEXに準じる



何かご不明な点がありましたら、お問合わせください。営業本部 03-3547-4415